

岩手県立農業大学校ディプロマ・ポリシー

(卒業認定・称号授与の方針)

1 目指す人材像

岩手県立農業大学校では、農業・農村が必要とする高度な専門知識と技術、幅広い教養、国際性を身につけた有能な農業の担い手となり、地域社会を発展させるうえでのリーダー的役割を担いえる農業青年を輩出することを目指します。

(1) 本科

農業・農村における多様な課題を発見し、その対応方法や解決方法を提示できる能力を備え、正しい職業観、農業観、自治の精神を持った農業・農村が必要とする人材の育成を図ります。

(2) 研究科

就農を前提として自らが将来の営農計画や進路目標に沿った研究を行い、常に問題意識を持って課題を解決していく創造的実践力が備わった人材の育成を図ります。

2 学生が卒業までに身につけるべき能力

(1) 本科

DP1：幅広い教養と豊かな人間性を備え、専門知識や高度な農業技術、経営能力を総合的に実践し、技術の革新に対応できる能力が身についている。(幅広い教養・専門知識・対応力)

DP2：自らの実践によって、地域の農業や農村の振興発展に意欲的に取り組むことができる能力が身についている。(主体性・行動力)

DP3：国際感覚を持ち、時代を先取りする農業者として機敏に行動できる能力が身についている。(先見性・機敏性)

DP4：農村社会がもつ高度な文化を正しく受け継ぎ、自然環境を守り地球と共生しようとする視野を持って行動する能力が身についている。(持続可能な社会への貢献)

(2) 研究科

DP1：農業に関するより高度で専門的な知識及び技術を備えた指導者としての能力が身についている。(専門知識・指導力)

DP2：優れた経営感覚や農業の国際化に対応できる知識などを備えた農業・農村の担い手、農業法人等組織経営体のリーダーとしての能力が身についている。(幅広い教養・経営者能力)